

# 累計投資先 200社突破へ

東京中小企業投資育成(東京都渋谷区、荒井寿光社長、03・5469・1811)が順調に投資実績を積み上げている。9月末までの累計投資先は1962社、投資額は1034億円で、2012年度中に投資先は2000社に達する見通しだ。法律に基づく政策実施機関として大阪、名古屋の投資育成会社とともに63年に設立され、13年11月に50周年を迎える。株式市場の長引く低迷もあり、投資の最終目標は上場だけではなくなっている現在、新たな役割や姿を荒井社長に聞いた。

**東京中小企業  
投資育成社長**

**荒井 寿光氏**



「安定株主としての役割が高まっていますね。かつては株式公開を目指す中小企業が多かったが、今では買収される可能性や上場維持費用のこともあり、敬遠する傾向がある。そうした状況の中では、当社は株主として投資先の業績動向を把握したり、監査法人のようなお目付け役を果たしたりすることで、いわば『准公開機能』を担う必要がある。もう一つは

株主の分散。創業時に従業員に株を持たせたり親族で持ち合った会社は、何年もたつと退職や相続などで株主が増えすぎてしまう問題がある。これ

## 来年11月に設立50周年

### 勝つため一緒に考える

「感謝の気持ちを表そうと50周年のロゴを作成した。トップセミナーも増やし、お役に立てるよ

る。もちろん普段から担者がうかがっているが、今回は『取引してどうですか』と顧客満足度を調査する。私自身もうかがう」

「国内市場は縮小するが世界の人口は増えている。国際化に対応すれば稼ぐチャンスは広がる。当社の取引先の精密位置

「具体的には、決めるスイッチメーカー、メトロール(東京都立川市)はインターネットで世界中に販売し高いシェアを握る。これからは下請けでなく自分で世界に売り込めるような中小企業が残るし日本経済を展させるのではないかと。取引先にヒントがある。一方で、技術の海外流出などの問題を一緒に考えていきたい」

「13年11月の周年に向けて、取引先全社を訪問する。もう一つは

「当社設立後の日本経済は横ばいかマイナス。日

あらい・ひさみつ 66年(昭41)東大法卒、同年通商産業省(現経済産業省)入省。73年米ハーバード大院修士修了、96年特許庁長官、01年日本貿易保険理事長、03年内閣官房知的財産戦略推進事務局長、07年東京中小企業投資育成社長。長野県出身、68歳。